

※※2013年12月改訂（第5版）
※2007年3月改訂

日本標準商品分類番号
8 7 2 3 1 6

貯 法：室温保存
気密容器に保存すること
使用期限：外箱に表示の使用期限内
に使用すること

活性生菌製剤

承認番号	(東薬)630
薬価収載	1959年10月
販売開始	1959年10月
再評価結果	1984年6月

フソラクトミン末

Fuso Lactomin Powder



【組成・性状】

※1.組成

フソラクトミン末は1g中ラクトミン3.50mgを含む散剤である。
添加物としてバレイショアンブレン、沈降炭酸カルシウム、サッカリンナトリウム水和物を含有する。

2.製剤の性状

フソラクトミン末は白色の散剤である。においはないか又はわずかに特異なにおいがあり、味はやや甘い。

【効能・効果】

腸内菌叢の異常による諸症状の改善。

【用法・用量】

通常成人1日3～9gを3回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

適用上の注意

調製時：アミノフィリン水和物、イソニアジドとの配合により着色することがあるので配合を避けることが望ましい。

【薬効薬理】

健康なヒト及び動物の腸内菌叢は、動物種、年齢、食餌によって、かなり一定しているが、この固有の腸内菌叢は、生体の生理、年齢、食餌、薬物、衛生状態などによって変動することが知られている^{1,2)}
培養試験の結果³⁾ラクトミンは有機酸産生能のほか、未知の抗菌物質を産生し、有害菌の初期発育を抑制することが観察されている。
ラクトミンはこれらの作用によって、腸内菌叢異常の原因を除き、バランスの回復、諸症状の改善に奏効することが期待できる。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：ラクトミン
菌 種：Streptococcus faecalis
性 状：白色～わずかに黄褐色の粉末で、においはないか又はわずかに特異なにおいがある。

【取扱い上の注意】※※

◇安定性試験

最終包装製品を用いた長期保存試験（25℃、相対湿度60%、3年間）の結果、試験項目はいずれも規格範囲内であった⁴⁾。

【包 装】

500g 1kg

【主要文献及び文献請求先】

- 1) 下山 孝, 最新医学, **38**, 2345 (1983)
- 2) 光岡知足, 最新医学, **38**, 2349 (1983)
- 3) 佐々木正己 ほか, 医学と生物学, **80**, 7 (1970)

※※4) 扶桑薬品工業株式会社 (安定性試験) 社内資料

※【文献請求先】 扶桑薬品工業株式会社 研究開発センター 学術部門
〒536-8523 大阪市城東区森之宮二丁目3番30号
TEL 06-6964-2763 FAX 06-6964-2706
(9:00～17:30/土日祝日を除く)

製 造 販 売 元



扶桑薬品工業株式会社

大阪市城東区森之宮二丁目3番11号

SG-111-111E